

部長

課長

担当  
補佐  
課長

合議

主査



令和3年3月31日

米子市長 伊 木 隆 司 様

補助事業者等 米子市東町161番地2  
米子市人権問題企業連絡会  
代表幹事 高 田 裕 文



補 助 事 業 等 実 績 報 告 書

令和2年6月9日付け人起第274号-2で交付決定の通知のありました補助金等に係る補助事業等の実績につきまして、米子市補助金等交付規則(平成17年米子市規則第46号)第18条の規定により、次のとおり報告します。

記

- 1 補助金の交付決定額 330,000円
- 2 補助金等の精算額 251,759円
- 3 補助金等の既受領額及び受領日  
概算払(令和2年6月29日受領) 330,000円
- 4 補助事業の実施期間  
令和2年4月1日～令和3年3月31日
- 5 添付書類
  - (1) 事業報告書
  - (2) 収支決算書

補助金を確定させ、返還命令いたしたく

保存期間 永 10 ⑤ 3 1  
起案 R3 年 3 月 31 日  
決裁 年 3 月 21 日  
施行 年 月 日  
人起第1512号-2



## 2020年度事業報告

米子市人権問題企業連絡会は、1996年の設立以来、会員企業相互の連携を密にするとともに、企業内はもちろん、社会に人権を定着させるための様々な取り組みを進めてまいりました。依然として、同和問題をはじめとするさまざまな人権課題を解決できない状況が続いている中、各企業には、従業員・顧客の人権を尊重した企業体質の構築や企業倫理としてのコンプライアンスの実践など、ますますの努力が求められています。各企業はその社会的責任をしっかりと自覚し、人権問題に対する正しい理解と認識を深めなければなりません。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、総会や各種研修などが、書面による開催もしくは中止となるなど、当連絡会も大きく影響を受けた1年となりました。

そのような中で、3月18日から25日にかけて、トップ及び担当者等研修会をオンラインにて開催し、  
の  
さんに「多様性を活かす企業の取り組み～女性、シニアが活躍する職場とは～」と題して、ダイバーシティの重要性などを分かりやすくお話いただきました。

その他、オンラインで開催となった全国集会では、「部落解放・人権西日本夏期講座」、「人権啓発研究集会」に多数の方にご参加いただき、人権問題の解決に向けた学習を深め、資質の向上を図ることができました。

「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会（特別講座）」は鳥取県内3会場で開催日を分けて開催され、新型コロナウイルス感染拡大に伴う差別について学ぶことができました。

「第45回米子市人権・同和教育研究集会」では、配信期間を設定してのオンラインによる開催となりましたが、多くの方にご参加いただきました。

機関紙「人企連だより」で活動の様子を会員企業の皆様にお知らせいたしました。

2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きいものと思われ、これまでと同様な取り組みではなく、新たな形での取り組みが求められています。当連絡会では、オンライン開催など対策を講じながら、あらゆる人権問題への理解を深める取り組みを行ってまいります。

2020年度末の会員数は70社ですが、今後とも新会員の獲得と魅力ある企業活動の充実のため、会員企業が共に手を携え邁進していきたいと思います。

2020年度事業日誌

(敬称略)

月	日	事業内容	場所	参加者
4	13	2019年度会計監査会	米子市役所	会計監査
4		第1回幹事会 ・総会議案について	書面開催	幹事 会計監査
6		総会 ・2019年度事業報告 ・2019年度収支決算報告及び監査報告 ・2020年度事業計画(案)について ・2020年度収支予算(案)について ・役員を選出(案)について	書面開催	
7	9	三市同企連・人企連情報交換会 ・各市同企連・人企連の活動状況について ・意見交換	鳥取市役所 (鳥取市)	代表幹事 事務局長
10	20	第45回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会「特別講座」 ・講演1「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」 講師：日本赤十字社鳥取県支部事業推進課長 中原真理子 ・講演2「」ハンセン病差別と新型コロナ禍差別 講師：九州大学名誉教授 内田 博文 ・講演3「既存差別を表出させた新型コロナ差別」 講師：公益財団法人反差別・人権研究所みえ 常務理事兼事務局長 松村 元樹	米子コンベンションセンター (米子市)	代表幹事
12	17 18	第35回人権啓発研究集会 ・リレートーク『「新型コロナ」とマイノリティ』 ・地元報告①『三重県における部落解放運動の歴史と現在』 松岡 克己(部落解放同盟三重県連合会執行委員長) ・地元報告②『反差別・人権研究所みえの取り組み』 本江 優子((公財)反差別・人権研究所みえ職員) ほか	三重県 ※オンライン開催	6社 13名

月	日	事業内容	場所	参加者
1	2 3	<p>第4 5回米子市人権・同和教育研究集会</p> <p>・記念講演：「性はグラデーション～ありのままのあなたが輝ける未来を～」</p> <p>講師：北口 末広（近畿大学人権問題研究所主任教授）</p> <p>・ヒューマンライツフェスティバル</p> <p>『同和問題』『どうする部落問題？どうすすめる人権啓発！』</p> <p>江嶋 修作（解放社会学研究所所長・人権テイクルートアドバイザー）</p> <p>川口 泰司（山口県人権啓発センター事務局長・人権テイクルートコンダクター）</p> <p>坂田 かおり（部落解放同盟米子市協議会議長・人権テイクルート代表）</p> <p>坂田 愛梨（人権テイクルート啓発担当フェロー）</p> <p>『子ども（就学前）』『原点回帰～人権がなければ保育／教育ではない～』</p> <p>勝山 結夢（NPO 法人国際臨床保育研究所研究員）</p> <p>『性的マイノリティ』『パパは女子高生だった～自分らしくいきること～』</p> <p>前田 良（Like myself 代表・人権テイクルートオーガナイザー）</p>	※オンライン	2 1 社 4 4 名
2	2 6 2 7	<p>第4 5回部落解放・人権西日本夏期講座</p> <p>・講演「核兵器のない世界を創る条約発効からの道筋」</p> <p>講師：川崎 哲（ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）運営委員）</p> <p>・講演：「表現の自由と差別規制共存社会のために」</p> <p>講師：志田 陽子（武蔵野美術大学造形学部教授）</p> <p>ほか</p>	山口市 ※オンライン	7 社 1 0 名
3	5	<p>トップ及び担当者等研修会</p> <p>・講演「多様性を活かす企業の取り組み～女性、シニアが活躍する職場とは～」</p> <p>講師：██████████（██████████）</p>	※オンライン	2 7 社 3 8 名
3	2 9	人企連だより発行		

## 2020年度収支決算

### (1) 一般会計収支決算

#### 収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	決 算 額 の 内 容
1 会 費	1,140,000	1,125,000	△ 15,000	～ 29人 @ 5,000 × 11社 = 55,000円 (途中入会) @ 0 × 1社 = 0円
				30～99人 @ 10,000 × 31社 = 310,000円
				100～199人 @ 20,000 × 15社 = 300,000円
				200～299人 @ 30,000 × 7社 = 210,000円
				300人～ @ 50,000 × 5社 = 250,000円
				70社 1,125,000円
2 雑 入	9,327	13	△ 9,314	預金利息 (上期5円、下期8円)
3 繰越金	880,673	880,673	0	前年度繰越金
合 計	2,030,000	2,005,686	△ 24,314	

#### 支出の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	流用額 (B)	決算額 (C)	比較増減 (C-(A+B))	決 算 額 の 内 容
1 会議費	115,000	0	33,880	△ 81,120	総会資料印刷製本費
2 事業費	1,504,000	0	278,140	△ 1,225,860	
(1) 研修費	1,037,000	0	141,880	△ 895,120	研修会、全国集会参加費
(2) 旅 費	267,000	0	3,380	△ 263,620	三市人企連情報交換会
(3) 啓 発 費	200,000	0	132,880	△ 67,120	人権啓発DVD購入費
3 事務費	150,000	0	91,097	△ 58,903	
(1) 通信運搬費	110,000	0	78,120	△ 31,880	切手
(2) 消耗品費	40,000	0	12,977	△ 27,023	事務用消耗品
4 負担金	11,000	0	10,550	△ 450	鳥取県研究集会負担金
5 予備費	250,000	0	0	△ 250,000	
合 計	2,030,000	0	413,667	△ 1,616,333	

(収入) 2,005,686円 - (支出) 413,667円 = 1,592,019円は、次年度へ繰り越す。

### (2) 補助事業会計収支決算

#### 収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	決 算 額 の 内 容
1 補助金	330,000	330,000	0	米子市補助金
2 雑 入	0	1	1	預金利息 (下期1円)
合 計	330,000	330,001	1	

#### 支出の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	備 考
1 事業費	330,000	251,760	△ 78,240	独自研修開催に係る経費
合 計	330,000	251,760	△ 78,240	

(収入) 330,001円 - (支出) 251,760円 = 78,241円は、米子市へ返還する。